



「進路のしおり」活用への『道しるべ』

本日、進路のしおりを生徒一人一人に配付しました。実際に進学を希望する生徒だけでなく保護者の皆様にもぜひお読みいただき、進路選択の一助となることを願っています。今号では、この「進路のしおり」を活用するための『道しるべ』を掲載していきたいと思います。生徒の皆さん、まずは今日から読み進めていきましょう！

I. 進路選択の上での自分の考え、決意をはっきりさせる！

→1ページのまえがきをまず読み、3ページから56ページの「進路設計編」を読む！

◎「進学希望者」➡6～24ページ ◎就職希望者 25～27ページ ◎進路年間予定表 28ページ

◎札幌市内中学校卒業生の進路状況➡29ページ ◎進路設計➡30～33ページ

◎育英（奨学金）制度➡34～36ページ ◎道内公立高等学校の入学希望者について➡37～45ページ

◎公立高校願書道立高校 Web 出願入力内容確認用紙➡46～50ページ ◎面接について➡53～56ページ

☆必要な時期、状況に合わせて活用しましょう！51,52ページには受験が近づいたら読んでおきましょう。巻末には各学校の案内図や願書の記入見本も載っています。

II. 「学校探究編」を読む

方法1：興味・関心がある学校をピンポイントで見る！

277ページから287ページにかけて各学校の一覧表が掲載されています。左側の列に学校紹介ページが掲載されていますので、直接各校のページを訪れてみてください。まずは、第1回進路希望調査で記入した学校を見ることを勧めます。

方法2：適当にながめて視野を広げる

「進路のしおり」には非常に多くの学校が掲載されています。近距離の学校を見るなど、自由にそして気楽にながめてみるのも良いと思います。全日制志望の人があえて定時制や通信制のページを見たり、公立高校希望の人が私立高校のページを“適当に”ながめたりすることは、勉強に疲れた後の気分転換になることでしょう。

方法3：自分に合い、充実した高校生活を送れそうな学校はどこかな？

自分の趣味・志向、具体的には学校行事や部活動など、視点を設けてざっとながめてみるのも良いと思います。

方法4：高校卒業後の進路先で比較読みする！

学校のページの多くは、「卒業生の進路」の欄があります。大学であれ、専門学校であれ、就職先であれ、『その先』にどんな進路があるのかを知る・考える手掛かりになると思います。1校だけでなく複数の高校を比較して読むことで見えてくるものもあるはずです。

☆「進路のしおり」以外にも、今後各高校の資料やパンフレットが配られたり、教室に置かれたりします。資料やパンフレットを見る際にも今回の学びを参考にしてください。カリキュラムや時間割も比較してみましょう。

III. 「活用編」を実際に活用する→興味をもった学校について、273～276ページにまとめてみよう！